

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年 6月18日 (火)

### 2 確認箇所

2号機タービン建屋南側

### 3 確認項目

2号機海水配管トレンチ建屋接続部における溜まり水移送作業前の状況

### 4 確認結果の概要

2号機海水配管トレンチについては、2号機タービン建屋より高濃度汚染水（全β放射能： $10^7\sim 10^8$  Bq/L、Cs-134+137： $2\times 10^8$  Bq/L程度）が流入し内部に滞留していたことから、平成25年10月より凍結工法による建屋接続部の止水を行い、水中で長距離流動可能なセメント系充填材を用いて、一部を除きトレンチ内部の閉塞、汚染水の除去が平成28年3月までに実施された。なお、タービン建屋との接続部については、建屋内滞留水の水位低下に合わせて充填閉塞作業を進めることになっており、平成31年3月から同作業が開始されたが、トレンチ内部に溜まり水が確認されたことから、溜まり水を2号機タービン建屋に移送した後にトレンチ内部の充填閉塞作業を進めることになった。

当該溜まり水の移送作業について、6月19日から開始される予定になっていることから、溜まり水移送時の漏えい防止対策等を確認した。

- ・溜まり水の移送ホースは2号機海水配管トレンチ建屋接続部（2号機タービン建屋南西側）から、2号機タービン建屋南東側を經由し、タービン建屋内まで敷設されていることを確認した。（図1、写真1）
- ・溜まり水の漏えい防止対策として、移送ホースの二重化や固縛、ホース連結部に受けパンが設置されていることを確認した。なお、ホース連結部にはビニール養生が施されており、受けパン内には吸水材が設置されていた。（写真2）

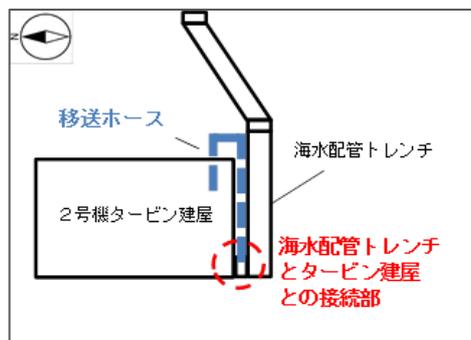


図1 2号機タービン建屋南側概略図



(写真1-1)  
2号機タービン建屋南西側



(写真1-2)  
2号機タービン建屋南東側



(写真2)  
2重化された移送ホース



(写真2-2)  
ホース連結部の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。